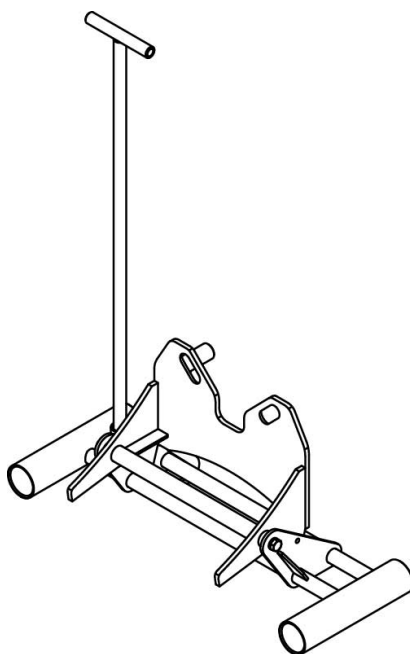


取扱説明書

ドラム用アタッチメント

NWD-DA2



警告

本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。



長崎ジャツキ株式会社

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎ジャッキ(株)のドラム用アタッチメントをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。

取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用してください。

お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。尚、取扱説明書及び警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付してください。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。

警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為に重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	1
2.警告・注意事項	1
2-1 警告事項	1
2-2 注意事項	2
2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称	2
3.構造及び各部の名称	3
3-1 構造及び各部の名称	3
3-2 ロック機構	3
4.使用方法及び使用上の注意	4
4-1 始業点検	4
4-2 指定の製品にドラム用アタッチメントを装着する	5
4-3 ブレーキドラムにドラム用アタッチメントを装着する	5
4-4 ブレーキドラムの取り外しと移動	6
4-5 ブレーキドラムの交換	6
4-6 ブレーキドラムの取り付け	7
5.可動部への給油	8
6.故障と処置	8
7.仕様	10
8.製品保証規定	10

1.使用目的

このドラム用アタッチメントは、ホイールドーリまたは大型タイヤリフターに装着し、中型・大型トラックやバス等のブレーキドラムの脱着・点検・交換作業を容易に行う為の補助機器です。

2.警告・注意事項

このドラム用アタッチメントをご使用頂く上での人身事故や車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 警告事項

警告

取扱説明書をよく読み、理解してから使用すること。
※重要な警告事項を説明しています。警告事項に従わないと重大事故につながります。
操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。
※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。
昇降部及び可動部に手や足や体を入れない。
※手などを挟まれて、重傷の危険性があります。
ドラム用アタッチメントにハンドルを差したままの移動禁止。
※ロックがかからず転倒し、思わぬ事故の危険性があります。

2-2 注意事項



注意

一般的な注意事項

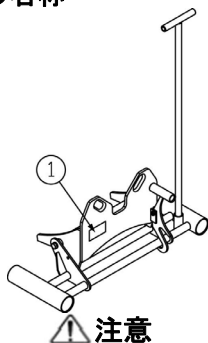
- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.自動車整備以外での使用禁止。
- 3.能力以上の使用禁止。
- 4.保管場所は屋内に保管のこと。
- 5.洗車作業での使用禁止。
- 6.ドラム用アタッチメントの改造は禁止。

使用上の注意

- 1.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 2.昇降操作中はブレーキドラムや車体の状態に注意し、わき見運転は絶対禁止。
- 3.昇降作業中は、他の人を近付けたり、触れさせないこと。
- 4.エンジンをかけたままの使用禁止。
- 5.ホイールローリの上昇はハンドルを差さず、手で操作してください。
- 6.必ず指定の製品のフォーク部に奥までしっかりと装着のこと。
- 7.ブレーキドラムの移動は最低位まで下げて移動のこと。
- 8.ドラム用アタッチメントはブレーキドラムに確実にセットすること。
- 9.必ず中心荷重で使用し、偏荷重での使用禁止。
- 10 急激な下降操作はしないこと。
- 11.ドラム用アタッチメントの回転は必ずT型ハンドルを使用し、ホイールローリのハンドルは使用しないこと。
- 12.ホイールローリまたは大型タイヤリフターで車体を上昇させないこと。

2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称

①	型式・能力ラベル
---	----------

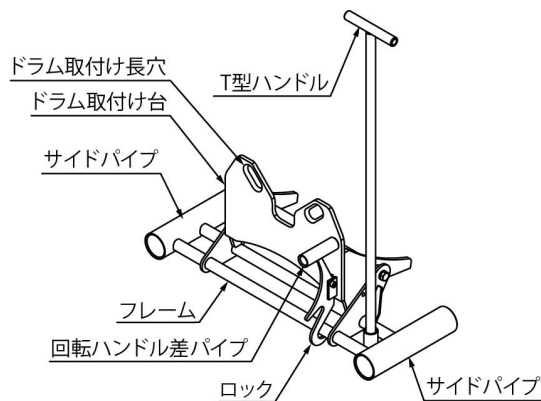


注意

ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

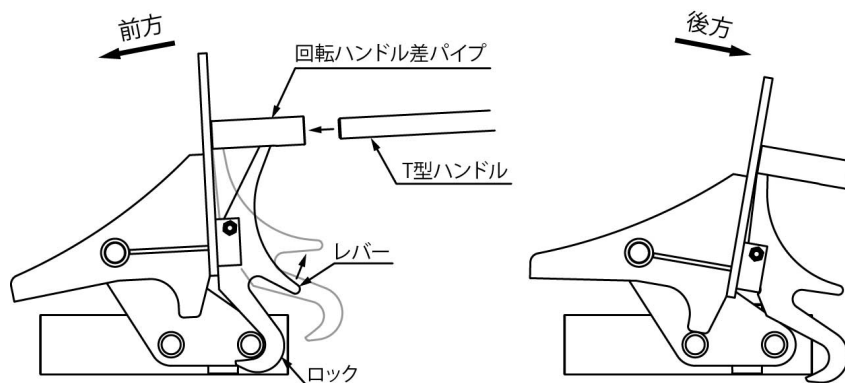
3.構造及び各部の名称

3-1 構造及び各部の名称



3-2 ロック機構

本アタッチメントは脱着作業や移動作業時にブレーキドラムが転倒するのを防ぐロック機構が装備されています。T型ハンドルを回転ハンドル差パイプに奥まで差し込むか、レバーを押し上げるとロックは解除され前方に傾きます。



4.使用方法及び使用上の注意

警告

このドラム用アタッチメントの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行ってください。なお点検はドラム用アタッチメントにドラムブレーキを載せない状態で行ってください。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでドラム用アタッチメントの使用を禁止して、直ちに販売会社まで連絡してください。そのままお使いになりますとドラム用アタッチメントの破損、及び重大な事故につながる危険があります。

※3ページの3-1構造及び各部の名称を参照してください。

点検箇所	内容	点検方法
・フレーム部	・固定ボルトに緩みはないか ・変形、破損、磨耗はないか ・汚れはないか	・目視、スパナ等にて点検 ・触感
・ロック部	・スムーズに可動するか ・変形、破損、磨耗はないか ・ロックは正常に動作するか	・目視 ・聴取
・各ねじ部 (ボルト及びナット部)	・変形、破損、緩みはないか	・目視、スパナ等にて点検
・ハンドル部	・変形、破損、歪みはないか ・回転ハンドル差パイプの奥までT型ハンドルが差さるか	・目視 ・触感
・ドラム用アタッチメント全体	・変形、破損等異常はないか	・目視

注意

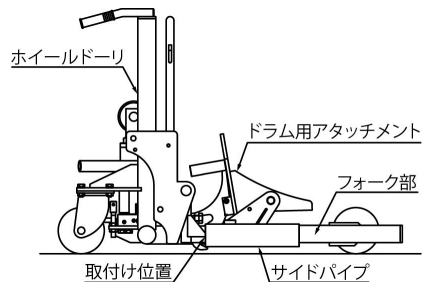
- ホイールドーリおよび大型タイヤリフターの始業点検も付属の取扱位説明書に従い必ず行ってください。
- 増し締めを行う場合は取扱説明書9ページ表のねじ締付トルクを参考に行ってください。

4-2 指定の製品にドラム用アタッチメントを装着する

メーカー指定製品：NWD-500G等(スタンダードタイプ)/NWD-501G等(ワイドタイプ)

NWD-400AH/NWD-400EH

- 1.ホイールドローリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を最低位まで下げ、フォーク部のフォーク角度を床面と平行に調整してください。
- 2.フォーク部の間隔が最大になるようフォークをスライドさせてください。
- 3.ドラム用アタッチメントのサイドパイプをフォーク部の奥まで挿入してください。

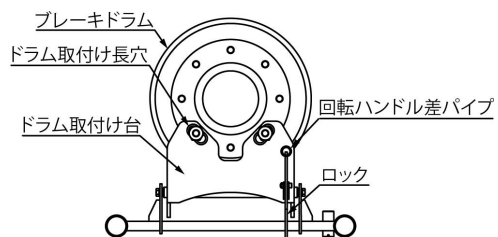


⚠ 注意

必ず指定の製品を使用し、フォーク部の奥まで挿入し装着してください。指定外の製品に装着したり、奥まで挿入されていないとドラム用アタッチメントが外れたり、製品が横転し、破損や重大な事故につながる危険があります。

4-3 ブレーキドラムにドラム用アタッチメントを装着する

- 1.ホイールドローリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を、ブレーキドラムのボルト部とドラム用アタッチメントのドラム取付け長穴に取り付け可能な位置まで上昇させてください。
- 2.ブレーキドラムのボルト2箇所をドラム取付け長穴に挿入させ、ナットでしっかり固定してください。

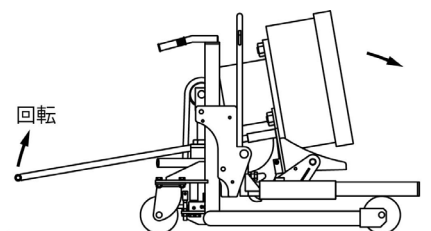


⚠ 注意

ナットはしっかり締め付けてください。締め付けが不十分だとドラムが前方に傾きます。又、ブレーキドラムが脱落し重大な事故につながる恐れがあります。

4-4 ブレーキドラムの取り外しと移動

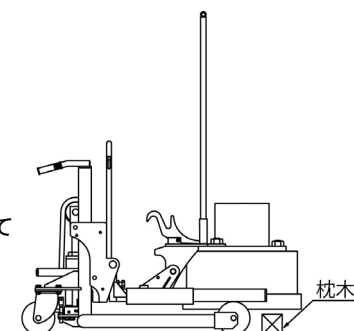
1. 回転ハンドル差パイプにT型ハンドルを奥まで差し、ブレーキドラムが少し浮く程度に回転と上昇（ホイールドーリまたは大型タイヤリフター）させながらブレーキドラムを取り外してください。
2. ブレーキドラムを取り外したら後方にブレーキドラムを倒し、T型ハンドルを回転ハンドル差パイプから取り外し、静かに最低位まで下げて移動させてください。



回転ハンドル差パイプにT型ハンドルを差し、ロックが解除された状態ではハンドルが抜けないよう注意し操作してください。ロックがかからず、ブレーキドラムが倒れ、破損や重大な事故につながる危険があります。又、ホイールドーリの上昇操作は手でホイールドーリのポンプハンドル差パイプを上下させ上昇させてください。ハンドルを使用しますと、ブレーキドラムのボルトや、ドラム用アタッチメントの破損につながります。

4-5 ブレーキドラムの交換

1. 交換する場所に移動し、ホイールドーリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を最低位から約10cm上昇させてください。
2. 回転ハンドル差パイプにT型ハンドルを奥まで差し込みゆっくり90° 回転させ、ブレーキドラムを地上面に回転させてください。
3. ホイールドーリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を下降させブレーキドラムを下げてください。この時フォーク部を下げて地面に付かない場合、枕木等を下に敷いてブレーキドラムを降ろしてください。
4. ブレーキドラムのナットを緩め、ブレーキドラムを取り外してください。





警告

ドラム用アタッチメントはフォークの奥まで挿入されていることを確認し、ハンドルはT型ハンドル以外使用しないでください。又、急激に回転させないでください。ブレーキドラムが転倒・脱落し、重大な事故につながる恐れがあります。

4-6 ブレーキドラムの取り付け

- 1.取り付けるブレーキドラムの前までホイールドーリまたは大型タイヤリフターを移動させてください。
- 2.ホイールドーリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を約10cm上昇させ、ドラム取付け台を90°回転させてブレーキドラムのボルト部(2箇所)をドラム取付け長穴に挿入し、ナットでしっかり固定してください。
- 3.T型ハンドルを回転ハンドル差パイプに奥まで差し込み、ゆっくり90°回転させ、後方にブレーキドラムを倒してT型ハンドルを回転ハンドル差パイプから取り外してください。
- 4.静かにホイールドーリまたは大型タイヤリフターのフォーク部を最低位まで下降させ、車輛の取り付け位置まで移動してください。
- 5.ホイールドーリまたは大型タイヤリフターのフォーク部をブレーキドラムが取り付けられる位置まで上昇させてください。
- 6.T型ハンドルを回転ハンドル差パイプに奥まで挿入し、角度調整しながらブレーキドラムを取り付けてください。



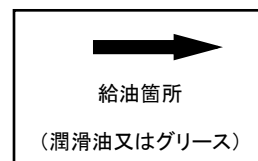
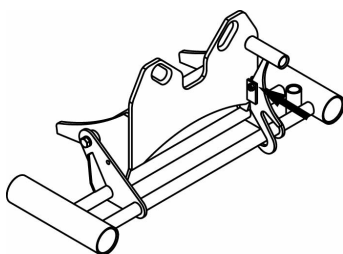
警告

ホイールドーリの上昇操作は手でホイールドーリのポンプハンドル差パイプを上下させ上昇させてください。ハンドルを使用しますと、ブレーキドラムのボルトや、ドラム用アタッチメントの破損につながります。

5.可動部への給油

※可動部への給油は1か月に1度以上行ってください。

グリース:スプレー式グリース等、浸透性の良いグリース



6.故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合のある場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

症 状	原 因	処 置
ロックがかからない。	①T型ハンドルが回転ハンドル差パイプに差し込まれている。 ②ロック部が変形、又は破損している。	①T型ハンドルを回転ハンドル差パイプから完全に抜き取る。 ②販売会社へ相談
ブレーキドラムがしっかり固定されない。	①ブレーキドラムとドラム用アタッチメントの位置が合っていない。 ②ドラム用アタッチメントが変形、又は破損している。	①指定製品のフォークの高さを再度調整する。 ②販売会社へ相談。
ドラム用アタッチメントが指定製品に装着できない。	①指定製品のフォークの間隔が合っていない。 ②サイドパイプ部、フォーク部が変形又は破損している。	①フォークを正規の間隔にスライドさせる。 ②販売会社へ相談。

参考:ねじ締付トルク

ねじの締付トルクについては、建築用高力ボルト以外にJISでははっきりと定められていません。はめ合いの硬さ加減や接触面のすべり具合の状態から数値を示すことは至難であります、目安が何も無いことは現場において不安であり、不便でもあるので、参考までに下記に示します。		
ねじの呼び	普通のボルト	六角穴付ボルト・高張力ボルト
強度区分	4.8	12.9
M8×1.25	12.3 N・m	38.5 N・m
M10×1.5	24.4 N・m	76.4 N・m
M12×1.75	42.5 N・m	133.3 N・m
M16×2.0	105.7 N・m	331.0 N・m
M18×2.5	145.5 N・m	455.5 N・m
M20×2.5	206.3 N・m	645.8 N・m
M24×3.0	356.7 N・m	1116.7 N・m
M30×3.5	708.7 N・m	2218.4 N・m

7.仕様

型式	NWD-DA2
能力 (kg)	150
アクスル中心～床面までの最低位/最高位 (mm) (ホイールドーリ装着時)	420/725
アクスル中心～床面までの最低位/最高位 (mm) (大型タイヤリフター装着時)	420/1420
揚程 (mm)	305
適応ブレーキドラム最大径 (mm)	500
適応ブレーキドラムクリップボルト数 (本)	6～10
適応ブレーキドラム最小車体 (t)	4
傾斜角 (°)	後 10/前 90
寸法 (mm)	W728×D322×H338 ※
自重	20
対応機種	ホイールドーリ スタンダードタイプ/ワイドタイプ 大型タイヤリフター

(品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります)

※寸法にハンドル高さは含みません。

8.製品保証規定

1)保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。

6.日本国外で使用される場合。

7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適応は除外させていただきます。



注意

このドラム用アタッチメントは防水仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

2)保証請求方法

前期の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご承知ください。

3)アフターサービスについて

1.調子が悪い時……………まずこの取扱説明書の[6.故障と処置]の項目をもう一度ご覧になって調べてください。

2.それでも調子が悪い時は………商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理依頼をしてください。

3.保証期間中の修理について……保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。

4.保証期間後の修理について……有償で対応させていただきます。

5.アフターサービスについての詳細・その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。

6.お問い合わせ頂く場合は、次の事項をお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

前記事項を下表に必ず記載してください。

型式			
機体番号			
購入年月日			
購入店名	社名：	担当者：	
	住所：	電 話：	
故障日・状況	年	月	日
故障日・状況	年	月	日

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854 愛知県碧南市須磨町 5 番地 2

TEL 0566-41-1482 FAX 0566-42-0709